



マンボウ通信 43号

ホームページ <http://www.geocities.jp/manbow7jp/donky2003/>

発行：NPO法人マンボウの会
【代表：庄子 裕子】

〒854-0011 長崎県諫早市八天町6-17
TEL・FAX (0957) 22-9569

Eメール manbow1388@yahoo.co.jp
就労継続支援B型事業所 ドンキーワールド

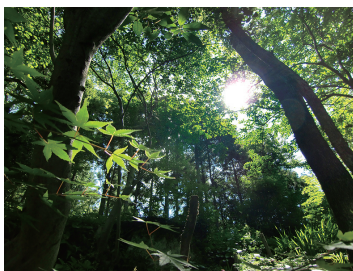
軽食喫茶タック（出張所）
TEL・FAX (095) 838-8738 木古里（従たる作業所）



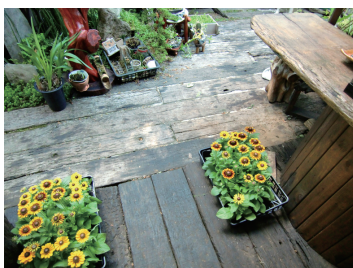
ドンキーワールド第三の事業所 木古里作業所 開所しました!

2012年4月1日。木古里がドンキーワールドの（従たる作業所）として開所することが出来ました。これもひとえにドンキーワールドに関心を寄せて、応援して下さった地域の皆様のお陰です。ありがとうございます。

これからも日曜日の『タック前:生け花教室の先生、上戸兄弟』であることに変わりはありませんが、ドンキーワールドの一事業所として、長崎



▲通称、木古里の丘。木漏れ日が美しいです。



▲身近で、可愛いお花を育てています。



▲完全手作りの石積み鉢です。

に九州に、日本中に、“ガーデニングの腕で”その名が知れ渡ることを、確信しています。

木古里の仕事は、庭の剪定から、ガーデニング・フラワーアレンジと多岐にわたります。手作りのこけ玉や、革細工、ミニチュアガーデンの石積みの鉢の作成。その他は未定ですが針金アートや、木工・小さな金属スクラップを溶接して、立体物などを作れ



▲利用者に快適に作業をしてもらえるように、水洗トイレや大型エアコンも完備。

る自由な“職人村”の様な空間にしていこうと考えています。

木古里は豊かな自然の中にあるので、その立地を生かして、利用者の一次受け入れ的な要素も兼ね備えています。おなじ利用者や職員のちょっとした手伝いや、ショップの片付けなど。生活習慣を整えながら働ける場所です。

太陽の光を浴びながら、庭を掃除して風の音を聞き、自然の移り変わりに気がつく。特別なことをするのではなく、普通の生活を送りながら自然と社会に順応・適応出来るようになっていく。

そんな作業所で私たちといっしょに働いてみませんか？

ガーデン＆フラワーショップ

木古里

TEL/FAX.(095) 838-8738

上戸 則幸

リニューアルオープン!!

“木古里祭りだ”わっしょい

2月27日の職員会議。森さんの“熊の一声”で『4月21日(土)22日(日)に木古里祭りをしてみようと思います』と話がありました。

まだ正式な開所以前に木古里祭りの計画? 森さんは過去に上戸兄弟と一緒に2年半もの歳月を掛けて今の木古里の原型を作ったのです。だから、木古里が事業所としてオープンしてからも困らないようにと、次の考えがあったのです。

例えば、ガーデニングの世界大会で銅賞を受賞してもそれで終わりです。祭りやイベントを行うことで、木古里を覚えてもらう。地道でもイイからお得意様、お客様を増やしていこう。そういう目的を持っていたのです。

祭り前の木古里は、良くも悪くも自然と同化している山小屋のようなお店でした。とても「フラワーショップ」といった小洒落た感じではありませんでした。

お客様に来て頂くための計画・準備が始まりました。毎週土曜には『木古里祭り実行委員会』もありました。殺風景なプレハブとショップ周辺には花壇やポットを整備し、ショップから登っていく段々の場所にはテーマを考え何かを作っていく。度重なる職員会議で、意見が対立し熱くなった時もありました。しかし、みなそれぞれが真剣だったからこそ本音を言い合い、熱くなったのだと思います。

印刷/制作部もチラシの制作で大変でした。オモテ面の祭り開催場所、日時、そして“木古里祭り”のイメージはすぐに完成しましたが、ウラ面の木古里マップが大変です。行くとたびに木古里の様子が変わるので、とにかく逆算して、印刷して折込に間に合わせるために、チラシ裏面の木古里マップ(手書き風)を仕上げるのに必死でした。

資料として撮影した画像総数 209 枚、容量は約430MBになりました。折込チラシは4日も早く搬入出来て、余った分のチラシを手配することもできました。その後、木古里祭り前日に会員カードが届きました。大きなミスもなく準備万端です。

一方主役の木古里も、連日休みなしでの園内整地、作り物、動線、駐車場の確保など慌ただしくしていました。砕いた瀬戸物を斜面にはめ込み、コンクリートで固めていく。花壇を瓦や枕木で囲んでいく。開催初日に出来るところまで作業を進めました。

そして、なだれ込むようにして始まった木古里祭りの初日。天気予報は雨でしたが、森さんの神通力が効いたらしく、晴天でした。出足は絶好調。撮影係だった自分が嬉しかったのは『前からあったお店ですか?』という質問です。その場に馴染んでいるお店は、成長する確率も高いからです。二日目は、お子様連れのお客様が多く、駐車場が足りなくなるほどの来状者数になりました。

途中で延期しようかとの話もありましたが、結果的に実行して正解だったと思います。決めたからこそ完璧ではなくても、祭りを開催でき、ショップらしくなりました。また、現在木古里がガーデニングの仕事の種をまくことが出来たのだと思います。

上原 英明



■木古里2011年7月10日。自然と同化しているようなお店の頃の様子です。



■木古里祭り。2012年4月21・22日。少し垢抜けて、お客様を迎えられる感じになりました。

QRコードを読み込むと、YouTubeでスライドショーをごらん頂けます。※携帯等だと高額なパケット料金になる恐れがあります。URLをパソコンに転送してご覧ください

あたらしい仲間紹介

ガーデニング作業 進行中!

不慮の交通事故で3年程、厳しい雇用情勢の中での求職活動とリハビリに通う変化のない生活でしたが、4月から木古里作業所に通っています。最初は他の利用者と仲良くなれるか少し不安でしたが、今ではだいぶ慣れました。前職はガードマン（交通整理等）の仕事をしていました。天候に関係なく厳しい仕事でした。今は自分の体調を考えながら、自分のやれる仕事（落ち葉集めや掃き掃除等）を他のなかま、職員さんと一緒に頑張っています。

まつもと かずひろ
松本 和博



木古里作業所の仕事の中で、一生懸命頑張っています。

これからもいろんな仕事にチャレンジして行きたいと思っています。

むらやま ひろふみ
村山 博文

初めは二階で休憩していましたが、今では人が居る場所の方が落ち着くようです。なんといっても、ドンキーワールドに来ることが励みになっているとのこと。この写真の笑顔からもそれが伝わってくるようです。はやくみんなと一緒にはたらくようになりたいそうです。

さかい みほ
(聴き手：編集) 榮 美穂



木古里まつりの日に入所して、もうすぐ3カ月になります。緑に囲まれての仕事は心が癒されます。毎日の仕事で充実した日々を送ることが出来て感謝しています。これから、まだまだ勉強する事ばかり

なので、楽しみに過ごさせていければいいなと思っています。

いしもと かおり
石本 香織

新職員紹介(木古里)

私は、これまで精神保健福祉士としての仕事を通して、いろんな職場でいろんな体験をしました。そんな体験で得た教訓が『3つ』あります。①十分な傾聴(色んな悩みを話してもらい、そして一緒にその悩みを整理する) ②利用者の将来の目標設定・目標達成に向けての助言・支援。③利用者の自己選択・自己決定を尊重する。 これら3つの教訓を生かし、木古里作業所でも『生活支援員』と



▲写真:左(上戸 茂) / 写真:右(北島 信二)庭造りの基本を教わっているところです。

していろんな場面で、利用者の悩みや不安、希望等に耳を傾けて行きたいと思います。そしてこれから梅雨が明け、本格的に厳しい暑さの夏が来る中で、利用者の方々と同じ目線で、一緒に土にまみれ、汗を流しながら1日の仕事の終わりを褒め称えながら、最終的には「完成したお庭をお客様に見てもらい、笑顔になって頂ける」ことを楽しみに、少しずつ地道にいろんな事に頑張っていこうと思います。

きたじま しんじ
北島 信二(精神保健福祉士)

タック、よもやまばなし

水曜日のカレーライス

タックの給食は、普段なら利用者も職員も A (肉料理) か B (魚料理) から自分の好きな方を選んで注文できるのに、水曜日は黙っていてもカレーライスが出てきます。以前からいる利用者や職員は、理由を知っていると思いますが、最近ドンキーワールドに入った人は、不思議に思っているでしょうね？

タックがオープンする以前は、みんな自分で弁当を持参するか、外注の弁当(当時430円)を食べていました。しかし、弁当のおかずはさまざま、毎日ごちそうを持ってくる人もいれば、家



庭の事情で、ごはんと生タマゴという人もいました。そんな時、みんなの話し合いで『水曜日はカレーライスの日にしてみんなと一緒に食べよう』ということで始まったのです。女性の利用者は、前日から福地

さんの指導でジャガイモ・ニンジンの皮むきの準備。庄子さんや田中さんには炊き込み、特に庄子さんには晩



▲具もごはんもシッカリ盛り。小鉢も多いんです。

まで苦勞をかけました。しかし、みんなが暖かいカレーライスをおいしそうに食べているのを見ていると、その苦勞も報われました。

当時は、ドンキーワールドもあまり工賃を出せない状況でしたので、その少ない工賃の中から外注の弁当代を払うということは大変なことでした。そこで、みんなにお昼だけでも栄養バランスのあるおいしいものを食べてもらおうということで、軽食・喫茶タックをオープンすることになったのです。そんなタックも9月を迎えると3年になります。『水曜日のカレーライス』は、このようにして始まったのです。 森 勝利

あたらしい仲間紹介

タック体験記

私は、3月から働いています。最初は、何年かぶりの仕事なので私自身できるかどうか不安でした。でも、みんながいろいろと教えてくれるので週に2回ですが楽しく働いています。諫早のグループホームに入るようになったら、毎日仕事



▲風邪を引いてお休みだったのですが、タックに立ち寄ってくれました。

に来ることができればいいなと思っています。おいしくて安いので、デイケアの人に宣伝したら食べに来てくれて、喜ばれました。これからも頑張っていきます。

くまもと
熊本 のり子

6月4日からタックのホールで働いています。病気になる以前は、サッカーやフットサルが趣味でした。でも、僕がケガで試合を休んだ時に限って優勝したり、大会で上位表彰されたりと、補欠以上に存在感のないユウレイ部員でした。行動力が僕の取り柄です。懸命にボールを奪いタイガーシュートを放つ、日向小次郎のように果敢にホールの仕事に取り組んでいきますので、よろしくをお願いします。



▲お客様のお話を伺いながら、丁寧な配膳を心がけています。

ほんだ ひろし
本多 博

パン部ミーティング

売り上げアップの秘策!

6月4日(月)パン部全員が集まって月に1回ほどミーティングを行っています。今回の会議内容は、販売コースの調整、一人一人の作業分担の確認と変更。土曜日の新規販売場所についてとド



ンキーワールド店舗の売り上げアップ対策について話し合いました。

新しいメンバーが3人も入ったので、

その人達の紹介もしました。

今回のミーティングで、販売コースの時間短縮が可能になり、そのおかげで営業活動にも行けるようにもなりました。特に販売場所が安定していなかった土曜日も、今では高来方面の『ふれあい会館』や『デイサービスひまわり』『デイサービスしゃくなげ荘』など、数箇所の販売場所で商品が安定して売れ始めまっています。この勢いで夏の売り上げをもっと伸ばし、頑張りたいと思います。

池田 秀春

あたらしい仲間
紹介

パン販売に新戦力

私は、昭和32年2月4日生まれ。諫早大水害の前でした。出身は佐世保です。まだ、諫早のことをあまり知りませんが、日々パンを売って回ってずいぶん町並みや道を覚え、アーケードの雰囲気にも慣れてきました。ドンキーに来て、6月28日で1ヶ月が過ぎました。仕事の方はまだまだですが、みなさん良い人ばかりでなので少しずつ焦らず、健康とケガにも注意しながら元気に働いていきます。

ますだ たつあき
舩田 辰明



6月13日からお世話になっています、花房です。昭和38年2月22日生まれのO型です。血液型の通り、少し大雑把です。今までは主婦をしていたため人と話す機会が少なかったのです

が、ドンキーワールドで働きだして、皆さんと話すことで『家庭でも明るくなってきた』と娘に言われました。人見知り激しい私ですが、皆さんとたくさんお話しをして仲良くなりたいと思っています。

はなぶさ しずこ
花房 静子



写真右: 鵜林さん▲

6月1日からパン部で働いています。今まで販売・接客の仕事の経験がなく、初めてのことで不安ですが、パン部門の仲間と仲良く協力し合って頑張っています。私の目標は、ドンキーで、たくさんの経験をjして一般就労することです。

うばやし せいじ
鵜林 誠次

鵜林さんはもう一般就労されていて、工場がお休みの水曜日にドンキー前のワゴンで販売を手伝ってくれます。

(編集)

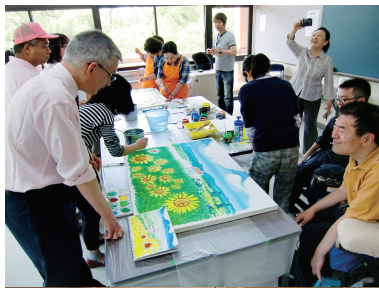
東日本大震災支援チャリティー企画

絵画展に復興の祈りを込めて

今回の絵画展は小規模通所作業所ぱれっとの活動資金と東日本大震災チャリティー企画。ドンキーワールドが共催をしたのは、庄子さんの古里でもある荒浜に早く復興して欲しいという願いがあったからだと思います。

2月18日から実行委員会を立ち上げて準備をし、招待状配りや、絵画展に使う印刷物などを作成し広報活動を行いました。

5月18日、絵画展前日を迎えることができました。午前中から慌ただしく観道具屋にて絵の搬入が行われて、ピカソ、シャガール、平山郁夫などの100点以上の絵画が展示され、私の心の美の恋人「ボナフェの絵」とも再会することができました。



午後からは高城会館で今回お招きした「ブルジャ」画伯との交流会があり、合作で画を描きました。「ぱれっと」と「ドンキーワールド」それぞれが用意した下絵に、みんなで色を塗り、それに画伯が一筆一筆入れるごとに絵が



輝きだすのが分かりました。夕方にはレセプションがあり、スタッフや商店街の人たちを招待し、諫早の伝統芸能「のんのこ節」を披露し、ワインで絵画展の成功を祈り乾杯しました。ブルジャ画伯にも楽しんでもらえたと思います。

いよいよ絵画展初日を迎え、「ぱれっと」と「ドンキーワールド」の仲間で受付や案内などを役割分担して、お客様を迎えました。私は案内係だったので招待したお客様と一緒に絵を見て回りました。

絵画展二日目、会場はお客様で一杯になりました。私は来てくれたお客様と会話をしながら回っていました。すると見知らぬお客様から好きな絵を聞かれました。お客様も私と同じでボナフェの絵がお好みだったらしく、しばしボナフェの話題で盛り上がりました。

その日の夜に妹から「兄妹で母さんに感謝を込めて絵をプレゼントしよう」という電話がありました。我が妹ながら、その優しい気持ちに少し疲れてた身体に「明日も頑張るぞ」という力がわいてきました。

絵画展も三日目の最終日を迎えました。月曜日にもかかわらず会場はお客様で一杯なり、その場で購入された画を持ち帰られるお客様も増えて来ました。私も妹の約束を果たすために会場で絵を見ていたら「母さんありがとう」の一筆が入った親子フクロウの絵が目飛び込んできました。これだ!! と思いその岩本画伯の絵を購入しました。フクロウの絵には「苦勞知らず(不苦勞)」という意味が込められていて、私達兄妹の母への「一緒に幸せになろう」という気持ちが表れていました。

本当に色々大変で疲れましたが、無事に絵画展を終える事ができました。これもホルプスタッフ、各事業所の職員、絵画展を見に来て頂いた多くの皆様のおかげです。心より感謝いたします。ありがとうございました。 大賀 誠



20周年のチューリップに期待!

ハウステンボスは、花よりバイキング

春の研修旅行は、毎年「チューリップ祭り」にあわせてハウステンボスに行きます。今年は20周年ということで、きれいなチューリップがたくさん咲いているのを期待して出発しました。

まず、食いしん坊の私が楽しみにしていたバイキング料理です。ふだん目にしない飲茶やデザートなどもあって、食べるモノに迷う初めての経験をしました。上原さんと森さんのふたりから料理を運んでもらって、お腹いっぱいおいしくいただきました。食事の後は介助担当の上原さんと自由行動です。姪や甥に『ワンピース』というアニメのキャラクターグッズを頼まれていました。しかし何を買って良いのやらサッパリ



りわかりません。上原さんに携帯の画像を見てもらいグッズを購入できました。さすがに物知りだなと思いましたが、

その後自分だけが全く知らないことが分かって凹みました。チューリップの写真を撮るために、パレスまで二人旅です。長い上り坂を電動車椅子の私と併走する上原さんは大変だったと思います。パレスの前までいくと、お目当てのチューリップがあまり咲いていなかったのが引き返すことにしました。坂道の両端に並べてある鉢植えのチューリップがきれいだったので、下りながらたくさんの写真を撮りました。

夜のハウステンボスが好きなので、来年は一泊旅行で来たいと思いました。 木寺 康則



あたらしい仲間紹介

「自身を持てる人間に!」

初めは印刷部でしたが、今は人と接する機会を求めて、タックにいます。ようやく3ヶ月半となりました。インターネットの扱いやパソコンの使い方を習得するのは、憧れではあったんですが、苦手意識もあるのか、不得手となり、体調不調も重なり、現在はタックのカウンターとレジ



の仕事で、日々エネルギー補充と、人との関わり合いで癒されています。最終的に『人の役に立つという自覚と自信が持てる人間になる』ことを目標としています。 やました かなこ 山下 加奈子

▲お客様と会話しながらのカウンター仕事。すっかり馴染んでいます。

新職員紹介(ドンキーワールド)

「持ち前の笑顔でよろしく!」

5月の絵画展でスタッフとしてお手伝いさせて頂き、その時のご縁でドンキーワールドの生活支援員として7月17日から、皆さんと一緒に働かせていただくことになりました。利用者さんが多くて、しかもとても生き生きと働いている姿を見て、私も頑張るぞと思っていますが…



名前と顔を覚えるのにしばらくかかりそうです。それとパソコンが得意ではないので、分からない時は印刷部の皆さんにお聞きしますので、教えてください。 えじま たえこ 江島 田栄子

▲初日から利用者の水筒にお茶を入れる準備。「どこに何があるの」疑問は笑顔で乗り越えます。

6月のみんなのつぶやき

全体会議の
ヒトコトとは、チヨット
ちがうよ

これからは、暑くなるので、夏バテをしないように気をつけます。
木下 正

最近、感じていることは、パン部門で朝の準備が終わった後で朝礼を行ったほうが良いと思う。
竹村 孝

毎日、厨房で100枚から200枚のお皿を洗っています。サラダの盛り付けも頑張っています。
本多 麻奈美

天体現象好きの私にとって、最近「日食レンズ」を手放せない日々でした。次は2016年の部分日食が今から楽しみです。
平田 いつみ

人のために生きられるような人生を送りたい。
坂本 弘子

誰か良いダイエットの方法を知っている方は、教えてください。(できるだけ長続きする簡単なものを...)
原田 智徳

研修旅行 実行委員の私としては、仲間みなさんに満足してもらえるように努力します。
宮浦 満

毎週水曜日に、回転焼きと梅ヶ枝餅を割引き(20円引き)していますので、お土産などにいかがですか？
田中 恵

7月からは、日曜日と月曜日のピアノ教室に専念します。生徒募集中です。
中島 裕子

毎朝5時に起きて、新聞配達をしてからタックにきています。睡魔と戦いながら仕事をしています。
田中 克将

時々、実習生が研修に来るのですが、1人1人指導の仕方が違うので、勉強させられます。初心忘れべからずです。
溝越 利恵

運転を出来るようになり社会復帰したいです。アマチュア無線の免許もあるので、活用したいです。
小島 一正

私のオススメするパンは「沖縄紅いも」です。笑顔で一生涯懸命売りますので、みなさん買いに来てください。
泉 桃子

みんな頑張っていると、思います。今は、研修旅行を楽しみにしています。
池本 学

パソコンを覚えたいです。楽しく朗らかに毎日をドンキーワールドで生きていきます。
平古場 晃

おしらせ

諫早万灯川まつり(55周年)

7月25日(水)20時~21時

諫早大水害で亡くなった方々の鎮魂を祈ります。約二万三千本の万灯が輝き、約二千発の花火が打ち上げられます。新橋の近くにあるドンキーワールドでも冷たい飲み物とパン販売で参加します!!

お盆休み.....

8月12日(日)~8月16日(木)

ドンキーワールド・タック、木古里もお休みさせていただきます。

ののこ諫早まつり.....

9月15日(土) 16日(日) 13時~19時(予定)

「ののこ」とは、諫早の方言で「かわいい」という意味です。両手にそれぞれ二枚の小皿を持って踊るので、別名「皿踊り」とも言います。

秋の研修旅行.....

9月30日(日)~10月1日(月)

行き先は島原方面で決定。宿泊先は、ミカドホテル本館を予定しています。

編集後記

▶梅雨の頃、僕たちがドンキーに通所するときにずぶ濡れになりました。でも、ドンキーの仲間達は雨にも負けず通所しました。夏は暑さに負けず、熱中症に気をつけて頑張ります。 大賀 誠

▶自分の原稿を自分の力で、徹底的に仕上げられることを目標に、何度も書き直しました。これからは、テーマと起承転結を意識して、楽しんで読んで頂けるような原稿書いていきます。 木寺 康則

▶“木古里”という事業所が加わりました。多くの方に通信を読んで頂き、活動内容や仲間達のことを、知って頂けると嬉しいです。厳しい暑さも、二十歳台の若さで乗り切ります。 森 大輔

▶『新しいなかまの紹介』『普段の仕事のこと』など。“頂いた原稿の良さを生かし”その人を分かってもらえるように“写真も一歩踏み込んで撮影”しました。三事業所になって、編集も大変です。

上原 英明